



井戸を建設した学校にて清潔な井戸水飲用の重要性を指導



ピースウィンズ・ジャパン現地レポート

2013年の活動報告と今後の支援について

アシスト南スーダン!

今、世界でもっとも多くの国内避難民・難民を抱える南スーダン。その現状が日本に伝えられる機会は少なく、知るすべも限られている。未知の国・南スーダンで何が起り、今どうなっているのか? タウトク編集部では、NGOピースウィンズ・ジャパンの協力により、その現実の姿を伝えていきます。支援活動続ける同スタッフの奮闘のレポートを紹介しつつ、南スーダンが抱える問題を少しずつひととき、少しでも身近な出来事だと感じられるようにしたい。

株式会社メディコムでは、読者の皆さんにタウトクを1冊(280円)購入いただくにあたり、その約1%である3円を、南スーダンをはじめアフリカの復興支援のために送金します。

「支援している」という高みに立った目線ではなく、積極的に関わり合いをもつことで現地の様子が気になるようになり、やがて世界で起こっているいろんな紛争や悲劇と、自分たちは決して無縁ではないことを肌で感じるための「3円」だと思っています。ぜひこの1%運動をご理解いただき、本誌連載にご注目ください。

PWJの携帯サイトはこちら!



世界各地で支援活動続けるスタッフからの「現地活動ルポ」、最新のNEWSなどの情報が携帯からチェックできるようになりました! 左のQRコードからアクセスしてみ! <http://www.peace-winds.org/m/>

タウトクでは毎月、南スーダンの国内避難民・難民支援事業へ送金した金額=タウトクの販売部数×3円を読者のみなさんにお知らせします。

タウトク12月号の販売部数

6,522部×3円=19,566円

を支援金としてPWJを通じ南スーダンの国内避難民・難民支援事業に送りました。

ご利用明細票																	
<table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> <th>単価</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td>タウトク</td> <td>6,522部</td> <td>3円</td> <td>19,566円</td> </tr> <tr> <td>送料</td> <td></td> <td></td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>19,566円</td> </tr> </table>	品名	数量	単価	金額	タウトク	6,522部	3円	19,566円	送料			0円	合計			19,566円	<p>月刊タウン情報クシマ</p> <p>タウトク</p> <p>medicomm inc</p> <p>株式会社メディコム</p> <p>月刊タウン情報クシマ編集部</p>
品名	数量	単価	金額														
タウトク	6,522部	3円	19,566円														
送料			0円														
合計			19,566円														

ピースウィンズ・ジャパン(PWJ)は、2006年より南スーダン共和国ジョングレイ州で帰還民を対象とした水・衛生分野の支援や学校建設を続けてきました。今月は2013年の活動報告と現在の南スーダンの様子を紹介いたします。

2013年は、学校校舎、トイレ、保健所などの建設から事業を開始し、先月の記事で紹介した、川の水を飲んで生活する人びとへ清潔な水を届けるため、ボートでしか行くことができない地域での井戸建設を行いました。



村に唯一の保健所を新設

PWJは、清潔な水へのアクセスが厳しい暮らしを強いられている人びとが住む地域を目指して、これまでに200本以上の井戸を掘削してきました。

井戸・保健所・トイレを建設し、引き渡した後に維持管理するのは現地の人たちで、誰が掃除をし、壊れたら誰が責任を持って直すのかなどを、村で話し合って決めてもらい、それを実行してもらうことの難しさを痛感しています。学校で教える教育だけでなく、村人たちへの啓蒙の大切さを実感した一年となりました。



村を訪問して井戸の有無や飲料水の状況を確認するPWJスタッフ



村に初めてできた井戸から水を飲む子どもたち



井戸建設をした周辺の学校で清潔な水について教えるPWJスタッフ

南スーダン最新状況 (2014年1月10日現在)

2013年12月中旬に起こった軍内の部族間対立から始まった軍事衝突は、南スーダン全土に広がり、PWJが活動するジョングレイ州でも大きな戦闘がありました。特に事務所を構えるポーでは、新年に入っても衝突が続いています。PWJ駐在スタッフは、状況の悪化を受け、全員国外に退避しており、現地の情勢について情報を集めつつ、数多く発生している国内避難民に対してどのような支援が可能か、検討を続けています。

2013年はPWJの南スーダン事業に多くのご支援を賜り、誠にありがとうございました。2014年も、2006年から南スーダンの人たちと歩んできたPWJだからこそできることを見出し、今回の戦闘を逃れ避難先で不自由な暮らしを余儀なくされている人びとに少しでも多くの支援を届けられるよう、活動を続けてまいります。今後とも、変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

PWJ南スーダン事業スタッフ一同

*本事業は、ジャパン・プラットフォームからの助成金や個人・法人のみさまによる寄付金により実施しています。